

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		TaKuRooの経営理念と経営方針、経営目標を社内掲示や社員研修での説明にて共有している。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		定期的に開催している社員研修にて全社員へ説明を実施している。同時にコンプライアンス、マナーといった研修を実施して社内での浸透を図っている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為に関与しない方針を人事規定に明文化しており、同時に社内掲示板にて徹底している。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		総務部門をSDGs・社会貢献活動等の窓口として任命している。また外部コンサルによる担当者研修等を行い、より継続・効果ある活動を企画推進している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		【予定】2025年8月までに、知的財産保護に関して総務部内で検討する。規程を作成して社内通知を行い、運用を開始していく。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護・漏洩防止に関しては規程を作成し、継続して社員教育を行い、懲罰についても規程に盛り込んでいる。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		マスコミや報道機関、各種メディアからの情報開示に対応し、会社や業界の状況や情報を提供し、ステークホルダーとのコミュニケーション作りを実行している。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●	●	事業パートナー、投資家への情報公開とともに、社員研修や規程への盛り込みにより、ハラスメントや倫理規範に違反する行動防止の周知を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●	●	熊本地震、人吉水害ともに直接被災した経験から、BCPを作成しており、今回の新型コロナウイルス感染症に対してもパンデミックへの対応としてBCPに基づきオペレーションを実行している。									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●	●	将来へ向けた持続可能な公共交通機能・人の輸送サービスを提供する為、10社のタクシー会社を持ち株会社と事業会社に再編し、将来への持続可能な企業として資本とガバナンス強化を行っている。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●	●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、昇格登用、福利厚生について、雇用条件や職場環境における差別・ハラスメントが発生しないよう人事制度規定、研修での啓蒙、アンケートによる確認を行っている。 また相談窓口も総務部内に設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		日々の出退勤時の点呼・健康確認、乗車時の車両点検、安全確認から恒常的なリスク軽減に努め、毎月の安全衛生委員会時に敷地内のパトロールによりリスク評価を行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員への公正な待遇を行っている。4月の新人事制度・規定においても、従来通り同一労働・同一賃金の原則に基づいた制度規定としている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		健康経営を実践する企業として、残業時間の管理、有給休暇の取得状況の把握を行っており、新人事管理システム導入により、一層の管理指導体制の強化を図っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		入社時の職種に沿った技能研修に加え、年2回、能力開発や業務スキル向上へ向け、集合研修を実施している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営を実践しており、健康経営優良法人認定を取得し、ヘルスター健康宣言を行っている。			3					8										17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性が働きやすい職場環境づくりに注力しており、会社敷地内に保育施設を開設し、企業内託児所として運営している。再雇用制度も整備し、定年退職後も引き続き業務に従事しやすい環境を整備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	●	社内外との定例会議や研修等については、新型コロナウイルス感染症の発生した当初より、オンラインでの対応を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	●	予約・配車システム、人事・経理業務システム、拠点毎の防犯・安全システム等DX導入を行っている。引き続き、業界内で最先端のDXデジタル化を進めていく。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	●				3	4					8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		タクシー車両および各部品、オイル等の廃棄物については、契約している専門業社による適切な回収を行い、環境汚染予防、安全への配慮を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気、ガソリン、LPG等についての使用量を定期的に管理している。新会社の立ち上げ時に新規購入した90台の車両は全て、EV車両とハイブリッド車両のみにしており、一層のエネルギー省力化によりCO2削減に取り組んでいる。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		新会社の立ち上げ時に新規購入した90台の車両は全て、EV車両とハイブリッド車両のみである。毎年5%のCO2排出量の削減を目標設定して、一層のエネルギー省力化に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		化石燃料の使用を削減する取り組みを継続している。また運転面においてもアイドリングストップ、省エネ運転指導を日常的に行っている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社員各自でマイボトルを使用することにより、ペットボトルごみを削減するよう取り組んでいる。また車両点検、車両入替時には使用できる部品の再利用も進めており、業務面でもリユース・リサイクルを実践している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		使用量が多い洗車作業については、自社敷地内に掘った井戸水を使用しており、生活用の水道水を使用しない様に企業として配慮している。また廃油等、専門業者引き取りを徹底しており、水資源への影響を管理している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		社内で使用する設備や消耗品について、エコマーク、リサイクル製品認証付き商品を意識して優先購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	健康経営の取り組みの一環として社員への健康的な食事提供を行っており、フードロス削減への取り組みとして、近隣農家より商品販売できない廃棄予定の野菜を調達して、社員へ提供している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	近隣のオフィスや住居に対する環境保全対策の一環として、自社敷地内での植栽を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	新会社立ち上げ時に新規購入した90台のEV車両、ハイブリッド車両は、エネルギー効率の見直しを目的に導入し、取り組みを継続している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	電気、ガソリン、LPG等についての使用量を定期的に管理している。新会社の立ち上げに伴い、新たに購入した90台の車両は、全てEV車両とハイブリッド車両のみである。一層のエネルギー省力化によりCO2削減に取り組んでいる。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		サービス品質を担保するドライバーの安全品質を確保するための仕組みを導入している。健康診断を年1～2回(受診率100%)や脳ドック、適性検査による、反射神経や体力測定も実施し、安全品質の確保を行っている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ユニバーサルデザイン車両の導入を長年に渡り行っている。車両だけでなく社員への研修も継続して行っており、誰もが快適に利用しやすいサービスの提供を行っている。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	健康経営の一環として社員への食事の提供を行っており、食材を近隣農家から仕入れ、地産地消を実践している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	オフィスに留まらず、敷地内に開設した企業内託児施設は、全面的に木質化にこだわった乳幼児が安全で快適に過ごせるやさしい設計となっている。木造建設に実績がある業者を選び建設を行っている。							7				12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	過疎化、人口減少社会における地域交通サービスをテーマに行政や大学、企業など産学官での研究を行っている。MaaS・CASE等、DXをベースに持続可能な交通サービスの提供から社会課題を解決する企業努力を継続していく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		毎年8月5日をタクシーの日として、長年に渡り募金活動を行っている。交通遺児への寄付を行い、交通安全への意識向上を狙いとしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		熊本地震、人吉水害ともに直接被災した経験から、BCPIに基づき、ハザードマップに基づいた避難行動計画や事前防災対策をアップデートしている。また災害時には、地域交通手段としての役割を果たすべく、防災・減災の取組みも進めている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	熊本地震、人吉水害ともに直接被災した経験から、人命救助への取り組みの一環として、AED取扱訓練を行い、AEDの積載車両、AED機器の貸し出し、車両や乗務員の派遣も行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	【予定】2025年8月までに、SDGs資料の掲示や配布等により、タクシーを利用していただくお客様へのSDGs啓蒙活動を実施していく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	地域交通サービスの提供を継続するには学卒採用や若い人材を増やす必要があるため、採用媒体の多様化や採用イベント、会社説明会にも積極的に参加し、会社の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2					17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	タクシーサービスだけでなく、熊本でグリーンスローモビリティやAIバスなど、新たな取り組みについて若者への次世代の地域公共サービスの魅力を伝え、県内就職を促進する取組みを行っている。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15	